

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜自治振興課＞

NO	課名	自治振興課	会計区分	一般	新規・継続	新規	補助・単独	単独	事業主体	市
1	事業名	三隅支所庁舎及び 消防会館雨漏り修繕事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	2,590千円		
	事業概要	<p>平成23年度事業。 三隅支所庁舎3階集会室と第4会議室間の天井からの雨漏りと三隅支所敷地内に所在する消防会館の1階天井からの雨漏りを防ぐため、修繕する工事を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三隅支所庁舎東側屋上防水工事 105.90㎡ (庁舎3階集会室と第4会議室間の天井雨漏り防止) ・消防会館陸屋根防水工事 109.60㎡ (公文書書庫及び看板等保管場所として利用している部分の雨漏り防止) 								
事業名	防災まちづくり事業 (小型動力ポンプ付積載車・ 小型動力消防ポンプ)			平成22 予算額	9,000千円	平成23 要求額	4,500千円			
事業概要	<p>小型動力ポンプ付積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新することにより、自治区消防隊の消防力の充実と強化を図る。</p> <p>平成23年度事業 小型動力消防ポンプ 3台 (室谷班、上古市班、古湊班)</p>									
事業名	防災まちづくり事業(無蓋防火水槽新設)			平成22 予算額	1,500千円	平成23 要求額	1,500千円			
事業概要	<p>水利確保の難しい山間部において、防火水槽を設置することにより消防力の向上と地域の安全を図る。</p> <p>平成23年度事業 防火水槽 1基 (井野地区)</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<自治振興課>

NO	課名	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	単独	事業主体	市
4	事業名	自治振興課		平成22 予算額	700千円	平成23 要求額	350千円		
	事業概要			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>水道部の事業計画(水道施設の配水管敷設替等)と調整を図りながら、消火栓の整備を行い地域の安全を図る。</p> <p>平成23年度事業 消火栓 1基 (白砂地区)</p>									
5	事業名	自治振興課		平成22 予算額	10,530千円	平成23 要求額	70,809千円		
	事業概要			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>自主的な活動を行う自治会等に対し、施設整備に要する経費の一部を補助することにより、コミュニティ活動を一層促進し、地域の連帯感の醸成及び住民自身による地域づくりに資する。</p> <p>①集会施設整備事業補助 集会施設の新築、改修等に要する経費を補助。補助額は算定基準による。(三隅自治区暫定施行)</p> <p>②防犯灯整備事業補助 地域住民の夜間の安全な通行に資するため、自治会等が防犯灯を整備する経費の一部を補助。防犯灯設置費用は全額補助、1基あたり上限8万円。修繕、電球交換は対象経費の1/2以内で補助(1自治会あたり5基限度)。</p> <p>※1. 防犯灯整備事業補助で各自治会の防犯灯をLEDに取替える予算を計上している。 ※2. ゴミステーション整備補助については、まちづくり総合交付金の創設にともない23年度から廃止となる。</p>									
6	事業名	自治振興課		平成22 予算額	14,000千円	平成23 要求額	13,995千円		
	事業概要			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>三隅自治区自治会連絡協議会の活動費補助を行い、会の活動を支援する。また先進的、先駆的な取り組みを行おうとするグループや、地域計画書を実現化するための活動や施設整備等を行おうとする自治会に対し、要綱に沿って経費の一部補助を行う。</p> <p>これまで三隅自治区のみの暫定施行の補助要綱に沿って補助しており、その継続に対する地域住民の期待が高い。その一方で、将来的な要綱の取り扱いに関する問題があった。また、当事業にかかる要綱を、地域づくり振興に係る要綱等へ統一することを想定した場合、現行の内容とギャップが大きくなることが予想されていたが、まちづくり総合交付金の創設にあわせ、自治区事業として明確な位置づけをするため、補助要綱を新たに制定することとする。</p> <p>※まちづくり総合交付金の創設にともない、各自治会に交付していたコミュニティ活動推進交付金は23年度から廃止となり、まちづくり推進委員会への交付金に含めて交付する。</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜自治振興課＞

NO	課名	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
7	事業名	自治振興課		新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
	事業概要			平成22 予算額	25,603千円	平成23 要求額	26,443千円		
				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>過疎地においては、4条バス路線運行業者の路線運行廃止が相次ぎ、高齢者を中心とした人々の買物や通院の交通手段の問題が深刻になってきた。そこで、交通弱者対策として、車両2台を購入するとともに、スクールバスの空き時間を利用して「ひゃこるバス」を運行する事業。利用者には好評である。本格的運行は、平成16年度から開始したが、利用者数は、微増という状況である。平成22年4月1日から利用料金の改定(1回 100円→200円)を行った。平成22年10月1日から石見交通㈱が運行する路線、浜田大谷三隅線の廃止代替として、市の生活路線バスの運行を開始する。あわせて、井野地区全体をカバーするよう現有路線の見直しを行い利用者の利便性を図ることとした。</p> <p>※23年度から市営バス料金の統一(自治区内一律200円)と定期券や障害者割引などを導入検討中。</p>									
8	事業名	自治振興課		新規・ 継続	新規	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
	事業概要			平成22 予算額	12,000千円	平成23 要求額	0千円		
				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>石見交通㈱が運行する路線、浜田大谷三隅線の廃止協議を受け、市がバスを購入し22年度に生活路線バスとして新たに運行するためにバス1台を購入する。24年度、25年度で現在運行している生活路線バス2台の更新を計画している。</p> <p>平成24～25年度事業 路線バス購入(更新) 2台</p>									
9	事業名	自治振興課		新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
	事業概要			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	34,000千円		
				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>平成23年度～27年度事業で事業計画。 三隅自治区内において、住宅を新築する浜田市在住者又はUIターン者に対し、補助金を交付することにより、三隅自治区の定住促進と、人口増加、地域経済の活性化及び岡見住宅団地の販売促進を図る。</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	単独	事業主体	市
1	事業名	交通安全施設整備事業			平成22 予算額	1,300千円	平成23 要求額	1,300千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
1	事業概要	カーブミラー等交通安全施設の整備								
2	事業名	市道石浦線道路改良事業			平成22 予算額	43,500千円	平成23 要求額	0千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
2	事業概要	<p>国の補助事業。補助残は起債で対応 平成22年度事業完了。</p> <p>当路線は、石浦集落と市場集落を結ぶ生活道路である。利用者の利便性と地域活性化を図るため整備したい。</p> <p>延長 687m 幅員 4.0m</p>								
3	事業名	市道釜ヶ迫線道路改良事業			平成22 予算額	10,000千円	平成23 要求額	37,400千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
3	事業概要	<p>財源は起債対応。</p> <p>平成17年度～24年度事業で計画。</p> <p>当路線は、中組集落と門殿集落を結ぶ最短の道路である。利用者の利便性と地域活性化を図るため新設整備したい。</p> <p>延長 504m 幅員 4.0m</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	補助	事業 主体	市
4	事業名	市道古湊向野田線歩道設置事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	0千円		
	事業概要				平成25年度～27年度事業で計画。 三隅小・中学校、リハビリテーションカレッジ島根の通学路である当路線に歩道を設置し、歩行者の通行の安全を図る。 延長 650m 幅員 1.5m						
					事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
5	事業名	市道西の谷金山線道路改良事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	10,500千円		
	事業概要				国の補助事業。 平成23年度～26年度事業で計画。 当路線は、益田市金山町と隣接しており、金山町分は改良整備がなされている。このため本市分の改良整備要望が強く過疎地域画自立促進計画に基づき改良整備し、地域間交流・地域活性化を図りたい。 延長 290m 幅員 4.0m						
					事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
6	事業名	市道今浦線道路改良事業			平成22 予算額	127,700千円		平成23 要求額	21,000千円		
	事業概要				国の補助事業。補助残は起債で対応。 平成18年度～26年度事業で計画。 当路線は、道路幅員も狭隘で急カーブも多く危険な状況にある。このため地元自治会要望も強く、過疎地域自立促進計画に基づき改良整備し、地域の活性化・定住対策 交通事故防止・利用者の利便性を図りたい。 延長 1400m 幅員 5.0m						
					事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<建設課>

NO	課名	建設課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
7	事業名	市道吉浦平原線道路新設事業			平成22 予算額	133,000千円	平成23 要求額	157,043千円		
	事業概要	<p>国の補助事業。補助残は起債で対応。 平成18年度～23年度事業で計画。 当路線は、国道9号と室谷農免農道に接続することにより、棚田百選に選ばれた室谷棚田や眺望の大 麻山等、地域の観光資源を有効に利用し地域の活性化を図りたい。 また、浜田三隅道路の新設により地区が分断されることに懸念を持つ室谷集落及び平原上集落の強い 要望がある。 延長 1,360m 幅員 7.0m</p>								
8	事業名	市道日ノ原堤防線歩道設置事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	0千円		
	事業概要	<p>平成25年度～30年度事業で計画。 三隅小・中学校、リハビリテーションカレッジ島根の通学路である当路線に歩道を設置し、歩行者の通行の安 全を図る。 延長 600m 幅員 1.5m</p>								
9	事業名	市道白砂今浦線道路新設事業			平成22 予算額	20,000千円	平成23 要求額	68,000千円		
	事業概要	<p>財源は起債対応。 平成19年度～26年度事業で計画。 当路線は、国道9号と残土処理場予定地及び今浦集落を結ぶ路線である。 また、浜田三隅道路の新設により地区が分断されることに懸念を持つ今浦集落の強い要望がある。 延長 900m 幅員 6.0m</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	補助	事業主体	市
10	事業名	市道井川線道路改良事業			平成22 予算額	23,100千円	平成23 要求額	52,500千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>国の補助事業。補助残は起債で対応。 平成21年度～24年度事業で計画。 当路線は、那賀西部広域農道新設に伴い拡幅、整備された「新宅橋」と市道下古和黑沢線「井川橋」とを結ぶ延長約430mの連絡道である。この区間は線形が悪く幅員狭小で車の離合が困難なため拡幅改良するものである。 延長 430m 幅員 5.0m</p>									
11	事業名	生活道路整備事業			平成22 予算額	5,619千円	平成23 要求額	15,000千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成20年度～27年度事業で計画。 誰もが安全で快適な日常生活を営み、積極的に社会参加できる活力ある社会を築くため、生活に直結する市道の整備がより求められている。多種多様な住民要望に対応するため、突角穿除・待避所・部分的拡幅改良等、小規模ながら実効性のある道路改良を行う。 23年度事業 井川線(1)用地測量、突角改良工事</p>									
12	事業名	橋梁維持修繕事業			平成22 予算額	51,400千円	平成23 要求額	82,530千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成20年度～27年度で計画。 従来、道路維持修繕費により橋梁塗装等を行っていたが、老朽化により危険な橋梁が増えてきた。緊急な対策を要する橋から計画的に修繕を行い、橋梁の長寿命化を図る。 23年度事業 市道日野原岡崎線(道正橋)橋脚補強、落橋防止工事</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<建設課>

NO	課名	建設課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
13	事業名	舗装補修事業			平成22 予算額	15,000千円	平成23 要求額	15,000千円		
	事業概要	財源は起債対応。 市道の舗装補修			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
14	事業名	側溝整備事業			平成22 予算額	6,000千円	平成23 要求額	16,000千円		
	事業概要	財源は起債対応。 従来、道路維持修繕費により整備を行っていたが、単年度の施工規模が小さく、各路線の整備完了まで長時間を要した。側溝新設改良が必要な路線を短期間で集中的に整備することにより、市民生活の安定、工事費の節減と効率化を図る。			平成23年度事業 市道西の谷須津線側溝整備事業 市道小野線側溝整備事業					
15	事業名	公共排水路整備事業			平成22 予算額	30,000千円	平成23 要求額	0千円		
	事業概要	財源は起債対応。 国、県の管理外の公共的な小河川、水路(農業用施設は除く。)公共水路の維持管理を行うことにより、民生の安定を図る。			事業区分 投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計区分	一般	新規・継続	新規	補助・単独	単独	事業主体	市
16	事業名	公園施設整備事業			平成22 予算額	112,500千円	平成23 要求額	23,300千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>経年劣化により維持管理上支障の出ている公園施設を改修や公共下水道接続を行い、安定した施設運営を継続することで住民の健康づくり・憩いの場として幅広い要請に応じられるよう施設管理に努める。</p> <p>平成22年度事業 アクアみすみ熱交換システム改修 都市公園下水道接続(7施設) 三隅中央公園内水道制水弁整備</p> <p>平成23年度事業 アクアみすみプール空調機更新</p>									
17	事業名	三隅中央公園整備事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	0千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成26年度～27年度事業で計画。 三隅中央公園の駐車場及び花壇を取り壊し、防災施設のケーブルテレビ局舎を建築したもので代替の駐車場及び花壇を公園区域内に整備するものである。花園300㎡・駐車場 30台分。</p>									
18	事業名	三隅中央公園整備事業(電源交付金事業)			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	33,000千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成23年度事業で計画。 経年劣化により維持管理上支障の出ている公園施設を改修し、安定した施設運営を継続することで住民の健康づくり・憩いの場として幅広い要請に応じられるよう施設管理に努める。</p> <p>【野球場改修】 バックネット・スコアボード改修、壁面衝撃緩衝材貼</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<建設課>

NO	課名	建設課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	県
19	事業名	県営事業負担金(県道・急傾斜)			平成22 予算額	18,000千円	平成23 要求額	21,712千円		
	事業概要	急傾斜地崩壊対策事業及び県道改良に伴う事業負担			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
20	事業名	一般住宅整備事業			平成22 予算額	9,956千円	平成23 要求額	8,164千円		
	事業概要	建築後36年が経過し、老朽化が進行している海石集合住宅について、老朽化が著しく今後入居予定のない棟は解体し、修繕により建物全体の延命化が図られる棟については、屋根修繕工事を年次的に行う。 平成23年度事業 海石集合住宅屋根修繕 CB造2階建 2(C,D)棟(屋根修繕307㎡)			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
21	事業名	市道松原岡見郷線道路改良事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	0千円		
	事業概要	平成24年度～27年度事業で計画。 当路線は、岡見住宅団地と須津・中山・郷集落を結ぶ最短の道路である。利用者の利便性と地域活性化を図るため新設整備したい。 延長 650m 幅員 5.0m			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<建設課>

NO	課名	建設課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
22	事業名	市道西の谷須津線道路改良事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	0千円	
	事業概要	平成24年度～26年度事業で計画。 当路線は、須津地区と青浦地区とを連絡する道路である。一部未改良となっている区間を整備し、利用者の利便性と地域活性化を図りたい。 延長 250m 幅員 5.0m			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
23	事業名	(仮称)市道古湊松原線道路新設事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	10,000千円	
	事業概要	平成23年度～27年度事業で計画。 当古湊地区は、国道・県道等の幹線道路からJR鉄道線路により狭小道路で分断された区域である。現道の改良が困難なことから新設により幹線道路及び国道へのアクセスを確保することで、生活の利便性の向上、防災上の安全を確保し、併せて地域の生活環境の向上、活性化を促進し定住化を図るため整備したい。 延長 300m 幅員 5.0m			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
24	事業名	市道黒沢公民館線道路改良事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	10,000千円	
	事業概要	平成23年度～24年度事業で計画。 財源は起債対応。 当路線は、県道から黒沢公民館へアクセスする道路である。現道の幅員は一部を除き3.0m未満で検診車・緊急車・輸送車等の進入に支障をきたしているため、防災上の安全を確保し、併せて地域の利便性、活性化の促進を図るため整備したい。 延長 100m 幅員 5.0m			事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	単独	事業主体	市
25	事業名	市道白砂小学校線道路改良事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	0千円	
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
25	事業概要	<p>平成24年度～27年度事業で計画。 当路線は、改良済の室谷農免農道から白砂公民館へアクセスする道路ある。現道の幅員は3.0m未満で離合がしにくく地域内からのアクセスに支障をきたしている、公民館は地域内唯一の公共施設であり、防災上の安全を確保し、地域の利便性、活性化の促進を図るため整備したい。</p> <p>延長 600m 幅員 5.0m</p>								
26	事業名	河川維持管理事業			平成22 予算額	10,000千円		平成23 要求額	10,000千円	
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
26	事業概要	<p>平成19年度～25年度事業で計画。 河川の維持管理</p> <p>平成23年度事業 今明川・山田川</p>								
27	事業名	市道田の浦八曾線道路新設事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	0千円	
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
27	事業概要	<p>平成24年度～26年度事業で計画。 八曾地区は南側をJR山陰線が通過しており、唯一の連絡道はJR線路の下をくぐる架道橋となっている。この架道橋は、幅員も狭く、高さ制限もあることから大型車の通行ができず、緊急車両の通行にも支障をきたしている状況である。 このため、北側にある「田の浦公園」へのアクセス道路として当路線を整備し、緊急車両の通行を確保することにより民生の安定を図る。</p> <p>延長 250m 幅員 5.0m</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜建設課＞

NO	課名	建設課	会計 区分	特別	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
28	事業名	浄化槽市町村整備推進事業			平成22 予算額	15,085千円	平成23 要求額	14,873千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
28	事業概要	<p>集合処理区域以外の地域を対象に、市が浄化槽を設置し維持管理することにより、集合処理区域と同等の住民負担で生活排水の処理を適正に行うことが可能になり、生活環境の保全に役立つ。また、家庭の水洗便所化が進み快適な生活を送ることが可能になる。</p> <p>平成23年度事業 10基(5人槽 2基、7人槽6基、10人槽2基)</p>								
NO	課名	建設課	会計 区分	特別	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
29	事業名	農業集落排水台帳整備事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	7,214千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
29	事業概要	<p>平成23年度事業。 農業集落排水施設(下水管路)の台帳を整備することにより、下水管渠の適正かつ効率的な維持管理ができ、事故発生時の迅速な対応が可能となる。</p> <p>管路台帳整備延長 L=9,970m アナログを電子データ化し、保存管理</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<福祉課>

NO	課名	福祉課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
1	事業名	リハビリテーションカレッジ島根支援事業			平成22 予算額	212,000千円	平成23 要求額	12,000千円		
	事業概要	平成21年度～26年度事業。 近年、全国的な養成校の増加に加え、少子化や長引く不況の影響もあり、学生の確保が困難な状況にある。学生の減少は、県内や浜田市のセラピストの減少、学生専用アパートの空き部屋の増加、また地域経済の衰退にも繋がる。このため、平成21年度から同校が実施する奨学金制度に必要な財源の貸付を行ってきたが、平成22年度からは、新たに入学金の助成についての支援も行き、入学者の更なる確保に努めることとする。								
2	事業名	ごみ処理センター焼却炉解体工事			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	0千円		
	事業概要	平成24年度～25年度事業。 閉炉した焼却炉を解体し、車庫や倉庫等の管理棟として建物の一部を改造する。将来的に解体の必要のある施設なので、早期に対応して環境に配慮する。								
3	事業名	飲料水確保対策事業			平成22 予算額	24,320千円	平成23 要求額	22,400千円		
	事業概要	簡易水道の整備区域外の地区を対象に飲料水の安定確保を目的に、地域の個人・団体が給水施設を整備する場合、工事費の一部を補助する。 また、この制度を利用し設置した諸機器についても、概ね10年が経過し老朽化しているため、その交換、修繕等についても補助する。								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<市民課>

NO	課名	市民課	会計 区分	特別	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
1	事業名	浜田市三隅自治区ウイルス性肝疾患 進行防止対策事業			平成22 予算額	19,035千円	平成23 要求額	31,396千円		
	事業概要	<p>(事業の目的)・・・インターフェロン治療はウイルス性肝炎に対する有効な治療手段であるが、治療費が高額なため治療に踏み切れずにいる。医療費助成により一部負担額を軽減することで治療に向けた動機付けを行い、合わせて該当世帯の経済的な負担軽減を図る。肝ドック・肝がん検診の実施及び講演会の開催等、肝がん予防に向けた積極的な普及・啓発活動を行う。</p> <p>◎制度改正(H22年4月) 自己負担限度額の変更、及び肝機能数値正常者を新に助成対象者とする</p> <p>(事業の効果)・・・①ウイルス駆除による肝硬変・肝がんへの進行防止 ②肝疾患の早期発見、早期治療 ③医療費の抑制(医療費適正化) ④浜田圏域の課題(平均寿命の延伸)の解決 ⑤関係者の生き甲斐(人生観)回復</p> <p>(達成目標)・・・ウイルス性肝疾患の早期撲滅を目指す</p> <p>※一部地域振興基金からの繰入金で対応。</p>								
2	事業名	健康な地域づくり事業			平成22 予算額	2,100千円	平成23 要求額	2,822千円		
	事業概要	<p>(事業の目的)・・・疾病予防による健康の保持 (事業の効果)・・・①医療費の抑制(医療費適正化) ②健康に対する意識の向上 (達成目標)・・・心身ともに健康で健やかに住める地域づくり</p> <p>事業内容 ・推進計画作成委託(元気づくり談議の開催→意見集約→まとめ(報告書作成)) ・保健委員活動・育成委託(健康教室、ウォーキング大会ほか)</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<産業課>

NO	課名	産業課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	補助	事業 主体	県
1	事業名	県営農道整備事業(鞍掛農道)			平成22 予算額		0千円	平成23 要求額		0千円
	事業概要	平成24年度～30年度事業で計画。 県営農道整備事業により農道を整備し、周辺地域の営農活動により生産された農産物や集落間の農家の情報交流を促進し、効率的な農業経営の安定を図る。県営農道整備事業の10%を市が負担する。 広域農道(鞍掛農道):平成26年度から平成30年度まで								
2	事業名	県営農道整備事業(県事業負担金)			平成22 予算額		12,600千円	平成23 要求額		0千円
	事業概要	県営農道整備事業により農道を整備し、周辺地域の営農活動により生産された農産物や集落間の農家の情報交流を促進し、効率的な農業経営の安定を図る。県営農道整備事業の10%を市が負担する。 ・広域農道(石見西部3期):平成22年11月23日開通予定								
3	事業名	林道改良事業			平成22 予算額		0千円	平成23 要求額		0千円
	事業概要	平成24年度～26年度事業で計画。 林道石浦野坂線は現在突っ込み線形であるが、弥栄町野坂の地すべり対策の直接事業では連絡線形での新規対策の可能性がある。その際弥栄町野坂側と連絡するように改良し、効率的な森林施業を図るほか、行政・観光・交流施設などと周辺集落との往来時間の短縮を図り、「人」と「もの」の流れを円滑にする。 L=874m、W=4.0m								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜産業課＞

NO	課名	産業課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	単独	事業主体	市
4	事業名	基盤整備促進事業			平成22 予算額	35,300千円	平成23 要求額	36,500千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成12年度から5年間基盤整備促進事業(補助事業)で農道舗装を実施したが、河川堤防の舗装については県の河川及び砂防指定の関係から実施できない状況であった。昨年度島根県浜田県土事務所に協議し、農道又は市道に認定して占用申請をすれば施工できることを確認した。河川堤防の維持管理(草刈等)について耕作者が行っているのが現状であるが、農家の高齢化、耕作放棄地の増加傾向に鑑み、農家の負担を少しでも少なくするため、ほ場整備実施済地区を対象に河川堤防の舗装を最重点課題とし、優先順位を付して5年で実施したい。安定的な農業経営を展開するにあたり、農作業の機械化、効率化に資する施策を進める必要がある。生産基盤を整備することにより生産意欲の向上と地域農業の活性化を図りたい。</p> <p>平成23年度事業 農道舗装 L=3039m</p>									
5	事業名	基盤整備促進事業 (農地等高度利用促進事業)			平成22 予算額	20,000千円	平成23 要求額	20,000千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>平成19年度～24年度事業で計画。 安定的な農業経営を展開するにあたり、農作業の機械化、効率化を進める必要がある。そのために必要な生産基盤を整備することにより生産意欲の向上と地域農業の活性化を図る。</p> <p>平成23年度事業 農道舗装 L=1974m</p>									
6	事業名	特産品展示販売センター管理費			平成22 予算額	4,730千円	平成23 要求額	4,730千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
事業概要	<p>特産品の展示販売と地域情報の発信、及び交流活動を通じて地域産業の振興を図る。 H24年度から新たな指定管理を行う。(※公募方式を予定、3年間債務負担)</p>									

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<産業課>

NO	課名	産業課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
7	事業名	中央会館管理費			平成22 予算額	3,746千円	平成23 要求額	3,746千円		
	事業概要	地域の活性化と農業の振興、市民の文化向上に資する。								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								
NO	課名	産業課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	補助	事業 主体	県
8	事業名	県営広域基幹林道整備事業			平成22 予算額	108,329千円	平成23 要求額	18,000千円		
	事業概要	旧緑資源幹線林道事業については、島根県が新たに創設された「山のみち地域づくり交付金」により事業を実施する。金城三隅線 金城弥栄区間残延長6.1Km・三隅区間残延長4.4Kmについて、平成32年度の完了を目指し実施するものである。本路線の整備により森林整備の推進、集落から中心部までのアクセス向上が図られる。 このうち三隅区間については、平成27年度の完了を目指し実施する。								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								
NO	課名	産業課	会計 区分	一般	新規・ 継続	継続	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
9	事業名	和紙の郷運営事業			平成22 予算額	4,392千円	平成23 要求額	3,755千円		
	事業概要	「石州和紙会館」の運営を指定管理者制度により石州半紙技術者会へ委託する。体験者・研修者への指導、和紙の販売及び啓発イベントの実施、他地域の和紙生産者との交流、技術研究を通して、国の重要無形文化財である「石州半紙」の伝承と後継者育成を支援する。また、技術者会・和紙協同組合または各事業所の企画・主催により、和紙産業の伸展と技術伝承を目的とした研究事業を開催する。								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜産業課＞

NO	課名	産業課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	補助	事業主体	市
10	事業名	みすみフェスティバル開催事業			平成22 予算額	5,902千円	平成23 要求額	6,031千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
10	事業概要	フェスティバル開催については、三隅自治区内の企業・自治会・JA・教育・福祉等、20余の団体に組織する推進委員会で基本方針が決定され、推進委員会より推薦された委員で構成する実行委員会が企画/準備/運営し、地域社会の連帯と活性化を促している。出展(店)、催し等を通じて地域の産業や文化を再発見する機会を提供し地場産業の振興を支援する。また、各委員の任期は2か年とされ、各団体からの推薦により改選される。								
NO	課名	産業課	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	単独	事業主体	市
11	事業名	浜田市人会事業			平成22 予算額	2,444千円	平成23 要求額	570千円		
	事業区分				投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他					
11	事業概要	東京、近畿、広島の各地区総会へ区長・担当課長・職員等が出席して浜田市の施策説明や現況を報告し、浜田市の発展に繋がる提案や情報等を交換する。会の運営活動を通じて、浜田市出身者による市のPRや情報発信が多角的、効率的に行える体制を支援するため、各地区の市人会に対して運営費の一部を負担する。								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜教育委員会三隅分室＞

NO	課名	教育委員会三隅分室	会計区分	一般	新規・継続	継続	補助・単独	補助	事業主体	市
1	事業名	スクールバス更新事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	36,322千円	
	事業概要				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>購入後10年を経過したスクールバスを計画的に整備し、児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくりを行う。 国の補助事業。平成23年度に4台更新。平成25年度は1台の更新を計画。</p>										
2	事業名	学校給食配食用デッキ整備事業			平成22 予算額	0千円		平成23 要求額	0千円	
	事業概要				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>平成23年度事業。 55億円財源計画に基づき学校給食センター方式を導入するにあたり、三隅小及び岡見小並びに三隅中に配食用デッキを整備する。 平成22年度9月補正で要求</p>										
3	事業名	公民館機能の強化・充実(三隅自治区)			平成22 予算額	12,692千円		平成23 要求額	12,091千円	
	事業概要				事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他				
<p>【事業概要・目的】 新市まちづくり計画にある「市民主体のまちづくり」を推進するため公民館機能の強化・充実を図る。 今後、自治区制度や支所機能が見直される中、地域の拠点施設として、その役割、機能の重要性は増すことから、住民ニーズや地域課題に対応可能な公民館勤務体制の整備を行なう。</p> <p>【事業内容】 各公民館に主事1名を増員し、次の業務を行う。 1. 地区まちづくり推進委員会の事務局を担い、まちづくりや地域づくりを推進する。 2. 行政窓口設置し、住民票等の証明、交付手続きや行政に関する相談等を行う。</p> <p>【効果】 ・行財政運営の効率化と住民サービスの向上 ・行政と市民との協働によるまちづくりの推進</p>										

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜教育委員会三隅分室＞

NO	課名	教育委員会三隅分室	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
4	事業名	黒沢公民館事務室整備事業			平成22 予算額	3,420千円	平成23 要求額	8,047千円		
	事業概要	<p>黒沢公民館は、旧三隅南小学校校舎を改修して整備したため、建築上の制約が多く、事務室は必要最小限の広さを余儀なくされていた。平成21年度から三隅自治区の公民館は、機能強化・充実対策の実施により、公民館主事が1人増員となり、当館の事務室は手狭になったため、平成23年度に増築改修して事務効率を図り、併せて渡り廊下の改修と公民館運動場の給水施設の改修を実施する計画である。</p> <p>事務室増築工事・設計監理業務委託 A=16㎡ 渡り廊下増改築工事・設計監理業務委託 A=20㎡ 運動場給水施設改修</p>								
5	事業名	三隅自治区図書館整備事業			平成22 予算額	8,495千円	平成23 要求額	119,709千円		
	事業概要	<p>三隅自治区の図書環境の整備を図ることにより、生涯学習によるひとづくり・まちづくりを推進する。</p> <p>1.場 所 三隅中央公園周辺外再検討中 2.建設面積 700㎡(造成3,200㎡)平屋建 3.蔵書予定数 30,000冊(現在、約10,000冊) 4.事業期間 平成21年度～平成24年度(平成25年4月開館予定)</p>								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

<地域情報課>

NO	課名	地域情報課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
1	事業名	携帯電話等エリア整備事業(基地局施設)			平成22 予算額		0千円	平成23 要求額	50,000千円	
	事業概要	三隅自治区内の携帯電話不感地域(井川地区)のエリアを整備して不感地域の解消を行う。								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								
NO	課名	地域情報課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
2	事業名	インターネット通信速度の提供サービス追加事業			平成22 予算額		0千円	平成23 要求額	2,000千円	
	事業概要	インターネットサービス(速度1.5M)で提供しているが、インターネットの利用形態が大幅に変わってきており、現在の通信速度では十分な利用ができないものがある。利用者から多くの要望が寄せられているので、新しいサービス(速度15M)の提供をする。								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								
NO	課名	地域情報課	会計 区分	一般	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	単独	事業 主体	市
3	事業名	センターモデム及び IP電話関連サーバーのリプレース			平成22 予算額		0千円	平成23 要求額	113,000千円	
	事業概要	平成23年度～24年度事業で計画。 三隅CATVのインターネット、IP電話サービス提供のための関連機器(サーバー)が耐用年数を経過したので、リプレースする。 * ケーブルテレビでインターネットサービスを提供するためには、「センターモデム」「モデム管理装置」は、必要。 * IP電話を現状の形態で提供するためには、「VoIP制御装置」「VoIP-DBサーバー」は、必要。 (IP電話事業は、計画の検討によって、H24年度に実施する)								
	事業区分	投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他								

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜水道部工務課＞

NO	課名	水道部工務課	会計 区分	特別	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
1	事業名	三隅地区簡易水道統合整備事業			平成22 予算額	0千円	平成23 要求額	10,000千円		
	事業概要				三隅地区簡易水道事業は6箇所の水源井戸を確保している。この内三隅川に沿って下流4箇所の水 源井戸を有する。水量に問題はないが、クリプトスポリジウム等耐塩素性病原生物による汚染の恐れが今後 想定される。 統合的な浄水処理設備を新設し、安全な水道水の供給と水道施設の見直しを図り経費削減に努める。					
2	事業名	三隅地区簡易水道整備事業(単独事業)			平成22 予算額	12,300千円	平成23 要求額	11,000千円		
	事業概要				財源は起債で対応する。 三隅町簡易水道事業は現在5事業で、内3事業は平成6年度以降で比較的施設が新しい。2事業は下 水道工事と同時埋設を行い改善した。しかし下水道区域外の老朽化が進んでおり配水管の布設替及び 機器類等の取替えを計画的に実施し水の安定供給に努める。					
3	事業名	河内簡易水道区域拡張整備事業			平成22 予算額	111,600千円	平成23 要求額	149,000千円		
	事業概要				平成22年度～23年度事業。 井川地区は、各戸に設けた自家用井戸を生活用水としている。しかし数戸の井戸からヒ素が検出され、 水道の布設を要望されている。近接する河内簡易水道を区域拡張し、安全で安定した水道水の供給に 努める。					

主 要 事 業 実 施 計 画 書

＜水道部工務課＞

NO	課名	水道部工務課	会計 区分	特別	新規・ 継続	新規	補助・ 単独	補助	事業 主体	市
4	事業 名	平原簡易水道増補改良整備、 水道未普及解消事業			平成22 予算額	3,413千円	平成23 要求額	78,000千円		
	事業 概要				事業区分		投資 ・ 基金 ・ 一般 ・ その他			
		平成22年度～24年度事業。 平原簡易水道は近年第2水源の取水量が著しく低下したため、安定した水源確保を図りたい。また、隣接する下室谷地区は、表流水を集落水道として使用してきたが、水源枯渇、水質悪化により水道の布設が要望されている。平原簡易水道を区域拡張し、安全で安定した水道水の供給に努める。								